



# 環境経営活動レポート

令和6年度

活動期間：令和6年4月～令和7年3月

株式会社 フジタ

令和7年6月20日発行

# 目次

◆事業概要	
事業所概要、許可情報	1、2
保有設備	3、4
事業場別作業工程図	5
◆組織図（実施体制・範囲）	6
◆環境方針	7
◆環境負荷実績3期比較	
本社・工場	8
資源化事業部	9
全組織	10
◆環境目標と環境負荷実績、評価	
本社・工場/資源化事業部	11
最終処分場	12
全組織	13
◆環境活動計画と取組結果の評価	14
◆次年度計画	15
◆取組後の問題の是正及び予防措置	16
◆環境関連法規への遵守状況	17
◆代表者による総合評価と見直し	18
◆その他の取組	19

# 事業概要

## 事業の概要

商号	株式会社 フジタ
代表者	代表取締役 金坂 博文
法人設立年月日	昭和47年6月1日
資本金	1,000万円
所在地	【本社・工場】 静岡県伊東市富戸1317番5794
	【資源化事業部】 静岡県伊東市荻359番地、伊東市荻357-1
	【安定型最終処分場】 静岡県伊東市富戸字祖師堂道907番地の2
環境管理責任者	常務取締役 齋藤 正
担当者	総務部課長 北野 祐司
連絡先	T E L : 0557-51-1123      F A X : 0557-51-1110
	E-mail : kkfujita@plum.ocn.ne.jp
	H P : <a href="https://eco-fujita.com">https://eco-fujita.com</a>
事業の内容	一般廃棄物収集運搬業・処分業（中間処分）
	産業廃棄物収集運搬業・処分業（中間処分・最終処分）
	古紙等リサイクル事業
対象範囲	全組織、全部門

## 事業規模

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般廃棄物収集運搬量/委託 (t)	6,913	7,657	7,029
一般廃棄物収集運搬量/受託 (t)	8,880	8,581	8,287
一般廃棄物中間処分実績 (t)	651	552	540
産業廃棄物収集運搬量 (t)	2,825	3,050	3,152
産業廃棄物中間処分量 (t)	2,705	3,736	4,035
産業廃棄物最終処分量 (t)	15,056	17,680	15,900
リサイクル事業製品出荷量 (t)	6,527	5,984	5,695
売上高 (万円)	96,216	100,025	84,537
従業員数 (人)	73	71	71
延床面積 (㎡)	4,537	4,537	4,537

廃棄物処理料金に関して

収集運搬量料金、処理料金につきましては処理物、運搬距離等により算定致します、弊社担当までご相談下さい。無料にてお見積り致します。

# 取得許可に関する状況

## 1. 一般廃棄物関連

許可市町村	許可番号	一般廃棄物の種類	許可年月日	有効期限
伊東市（収集運搬業）	伊東市指令環第1014号	可燃ごみ、不燃ごみ、 特定家庭用機器再商品化法対象物	R5.7.1	R7.6.30
伊東市（処分業）	伊東市指令環第1029号	カン、粗大ごみ、木くず、 ペットボトル、発泡スチロール	R5.7.1	R7.6.30
東伊豆町（収集運搬業）	東伊豆町 令和7年2月10日付	可燃ごみ、不燃ごみ	R7.2.14	R9.3.9
伊豆市（収集運搬業）	伊豆市指令第5号	可燃ごみ、不燃ごみ	R7.3.24	R9.3.31

## 2. 産業廃棄物関連

産業廃棄物収集運搬業			許可品目							
都道府県	許可番号	許可年月日及び有効期限	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	紙くず	木くず	繊維くず
愛知県	02300006835	R2.11.16	●	●	●	●		●	●	●
		R7.11.3								
神奈川県	01405006835	R6.3.10	●	●	●	●	●	●	●	●
		R11.3.9								
静岡県	02201006835	R5.8.16	●	●	●	●	●	●	●	●
		R12.8.15								
産業廃棄物処分業（中間・最終処分）			許可品目							
静岡県	02241006835	R3.8.16	●	●	●	●		●	●	●
		R10.8.15								
石綿含有産業廃棄物等に関する記載【収集運搬業】										
愛知県	廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類は石綿含有産業廃棄物を含む。									
神奈川県	廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む。金属くずは水銀使用製品産業廃棄物を含む。がれき類は石綿含有産業廃棄物を含む。									
静岡県	廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類は石綿含有産業廃棄物を含む。									
	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは水銀使用製品産業廃棄物を含む。									
石綿含有産業廃棄物等に関する記載【処分業】										
静岡県	廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類は石綿含有産業廃棄物を含む。									

## 3. 運送業許可、建設業許可ほか

許可団体	許可番号	許可の種類	許可年月日	有効期限
中部運輸局	中運自貨二第8号	一般区域貨物自動車運送事業免許	S63.1.6	-
静岡県公安委員会	静岡委伊第47号	金属くず商許可	H7.2.14	-
静岡県公安委員会	第491050000518号	古物商許可	H7.2.14	-
静岡県知事	熟土 第21-50号	一般建設業許可 (土木工事業、とび・土工工事業)	R4.9.16	R9.9.15

## 保有設備等の状況（一般廃棄物収集運搬・処分）

### 一般廃棄物収集運搬車両（本社・工場）

車両及び重機種類	台数
パッカー車（2t、3t）	4
パッカー車（6t）	9
キャブオーバー（2t）	6
ダンプ（2t）	2
脱着装置付コンテナ専用車	6
軽トラック	1

### 一般廃棄物収集運搬車両（資源化事業部）

車両及び重機種類	台数
パッカー車（6t）	2
キャブオーバー（2t）	2
ダンプ（2t）	1
脱着装置付コンテナ専用車	1

※産業廃棄物収集運搬車両と一部重複あり。

### 一般廃棄物処理施設の種類の種類と処理能力（t/8h）

施設の種類の種類	カン	粗大ゴミ	木くず	ペットボトル	発泡スチロール	設置場所
圧縮施設1	4.97					伊東市富戸1317-5794
圧縮施設2		4.51				伊東市荻359
切断施設1		1.80				伊東市富戸1317-5794
<b>破碎施設1</b>			4.80			伊東市富戸1317-5794
破碎施設2		4.72				伊東市富戸1317-5794
<b>破碎施設3</b>				2.40		伊東市荻359
<b>溶融固化施設1</b>					0.40	伊東市荻357-1
<b>溶融固化施設2</b>					0.40	伊東市荻359

※太字は産業廃棄物処理施設と重複。

## 環境関連技術資格取得状況

資格認定団体	資格番号	資格取得者	資格の種類	取得日
(財) 日本環境衛生センター	第24116002号	金坂 博文	一般廃棄物実務管理者講習	R6.10.4

## 保有設備等の状況（産業廃棄物収集運搬・処分）

産業廃棄物収集運搬車輛他（本社・工場、最終処分場）

車輛及び重機種類	台数
脱着装置付コンテナ専用車	10
ダンプ	2
ユニック	3
パッカー	2
車両系建設機械等	9

産業廃棄物収集運搬車輛他（資源化事業部）

車輛及び重機種類	台数
脱着装置付コンテナ専用車	1
キャブオーバー	1
パッカー	2
ウイング車	1
フォークリフト	2

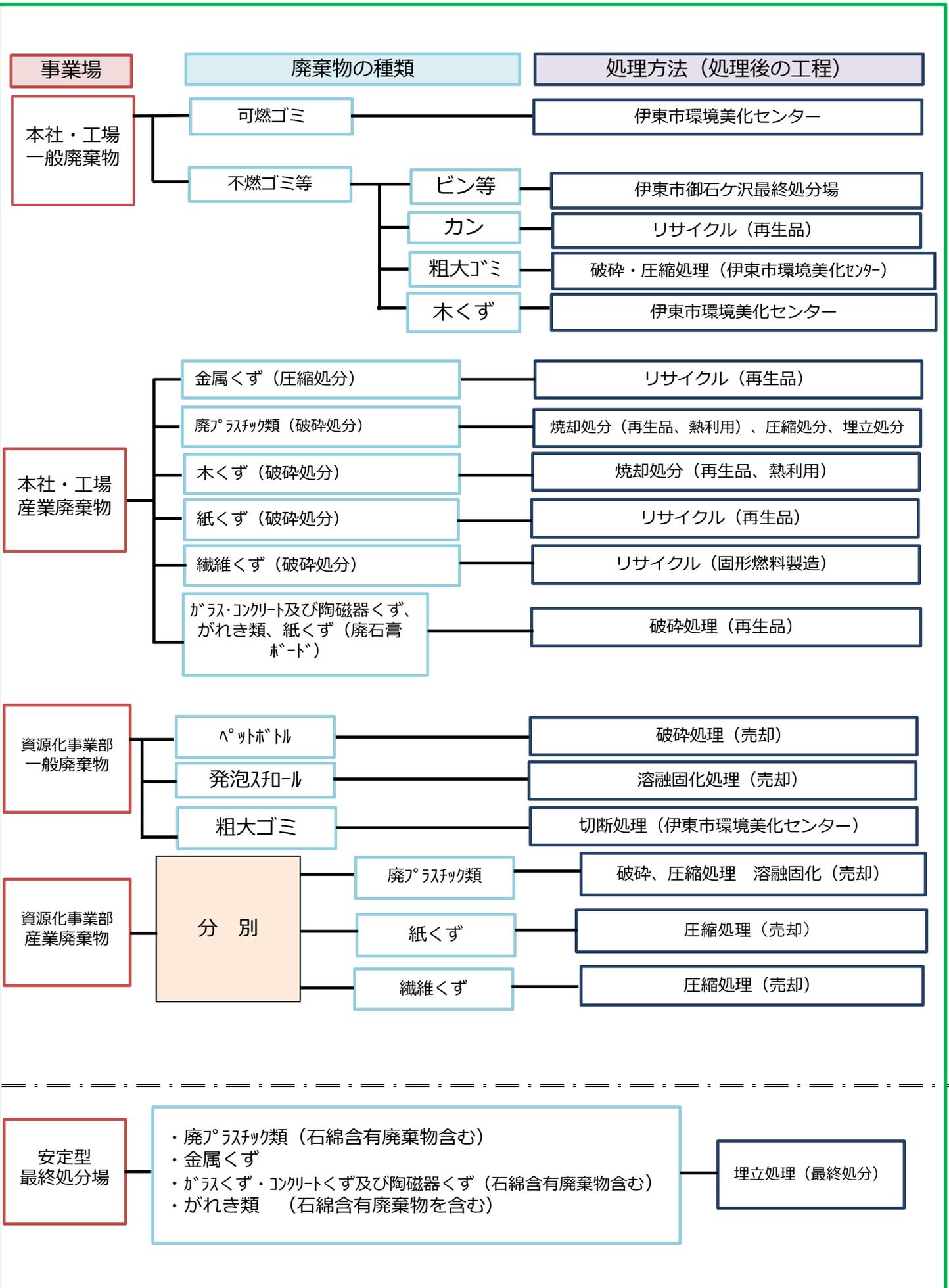
産業廃棄物処理施設の種類の種類と処理能力（t/8h）

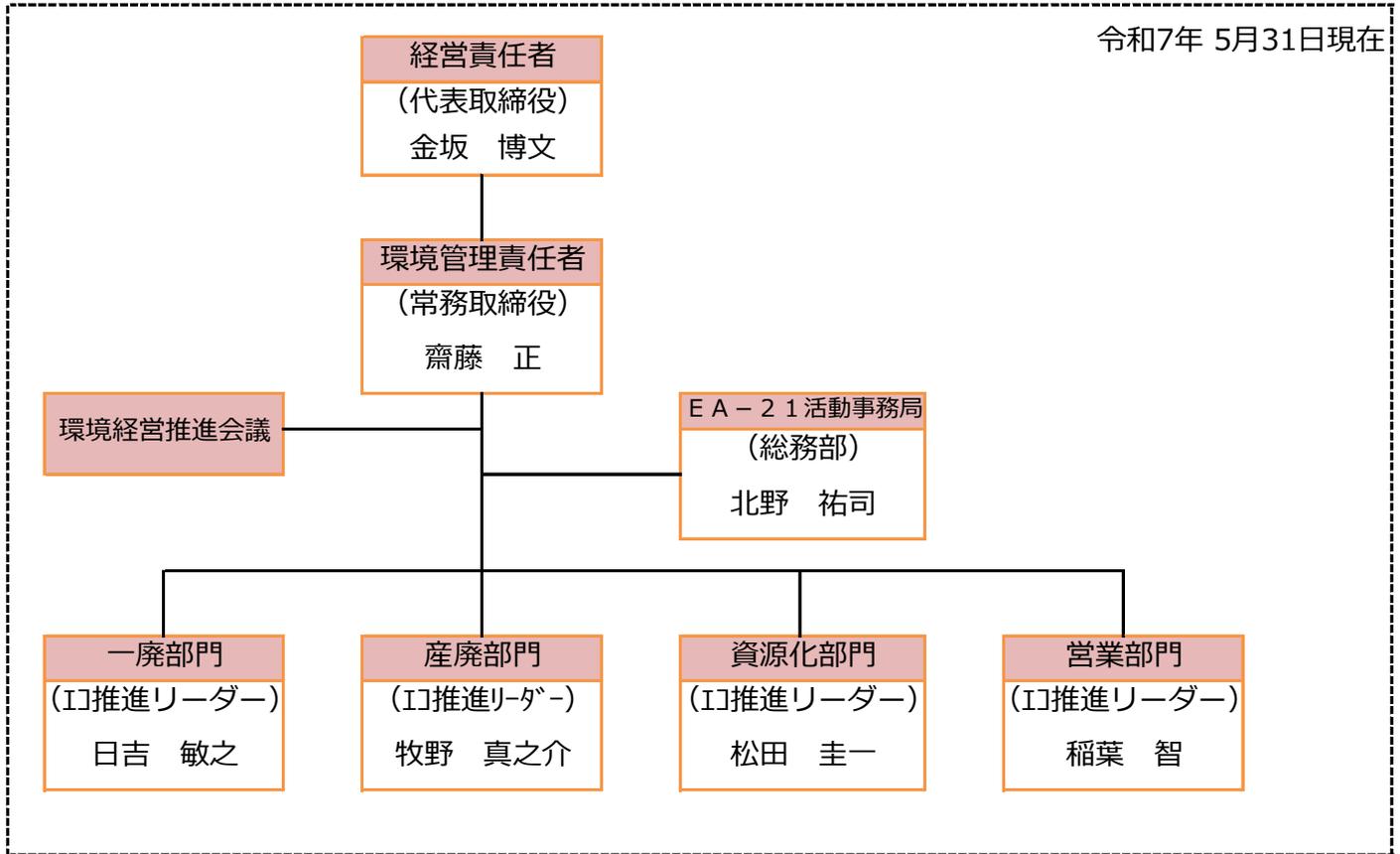
施設の種類の種類	廃プラスチック類	金属くず	木くず	紙くず	繊維くず	がれき類	ガラス陶	設置場所
破砕施設1	4.73			4.18	3.70			伊東市富戸1317-5794
破砕施設2				0.16		4.57	4.80	伊東市富戸1317-5794
破砕施設3			4.80					伊東市富戸1317-5794
破砕施設4	2.02							伊東市荻359
圧縮施設1		8.00						伊東市富戸1317-5794
圧縮施設2	39.20							伊東市富戸1317-5794
圧縮施設3	8.89			7.88	3.20			伊東市荻357-1
圧縮梱包施設				91.43				伊東市荻359
溶融固化施設1	0.40							伊東市荻357-1
溶融固化施設2	0.40							伊東市荻359
安定型最終処分場 埋立面積57,813㎡ 埋立容量824,461㎡	廃プラスチック類（石綿含有廃棄物を含む）、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有廃棄物を含む）							伊東市富戸字 祖師堂道907-2

## 環境関連技術資格取得状況

資格認定団体	資格番号	資格取得者	資格の種類	取得日
(財) 日本産業廃棄物 処理振興センター	第B01240025122号	金坂 博文	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会の収集・運搬過程	R6.7.11
(財) 日本産業廃棄物 処理振興センター	第B06250184015号	金坂 博文	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会の処分過程	R7.5.23
(財) 日本環境衛生 センター	認定番号040940	牧野 真之介	最終処分場技術管理士	H26.9.4

# 事業場別作業工程図





<環境管理組織における機能>

**経営責任者**

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築
- ⑤経営における課題とチャンスの明確化

**環境管理責任者**

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施 …… PDCAの進捗状況の確認
- ④経営者への進捗報告

**EA-21活動事務局**

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

**各部門**

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤社員教育
- ⑥環境上の緊急対策の制定

## 株式会社フジタ 環境経営方針

### [環境経営理念]

株式会社フジタは一般廃物処理業、産業廃棄物処理業、再資源化業の3つを柱として事業活動を行なっています。今や廃棄物をただ単に処分するという時代は終わりを告げ、世界的にも環境という言葉をもっと重視した政策、事業活動が展開されています。このような時代の中、弊社は自然に囲まれた伊豆という地域から廃棄物処理の観点で環境面での社会貢献ができるよう事業活動をしていきます。

今般、世界的にSDGsへの意識が高まりつつある中で弊社もエコアクション21の活動を実践し、環境数値の削減、それに伴う経費の削減による経営面の安定を目指し企業価値を高め、SDGsへの活動に貢献していければと考えております。

### [基本方針]

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

1. 全員で環境保全活動を展開し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、使用水量の削減
  - 1) 電気、軽油、ガソリン、灯油の省エネルギー活動の推進に努めます。
  - 2) 廃棄物の中間処理におけるリサイクル向上に努めます。
  - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
  - 4) リサイクル事業の拡大に努めます。（エコ友の会の会員数増加）
2. 環境関連法規制等の遵守
  - 1) 環境関連法規制及びその他の規制を遵守致します。
3. 環境に配慮した物品の調達と地域社会への取組
  - 1) 事務用品や用度品のグリーン購入に努めます。
  - 2) 廃棄物排出事業者、住民に対して分別排出の指導・支援に努めます。
  - 3) 社会（工場）見学の間として資源化事業部を提供する機会を増やします。
  - 4) 顧客サービスの徹底に努めます。
4. 環境コミュニケーションの積極的実施  
社外においては、環境活動レポートを公開し、利害関係者とのよりよいコミュニケーションを実践します。

社内においては、全従業員に、この環境方針及び必要事項を周知し、全社員参加による取組を展開します。

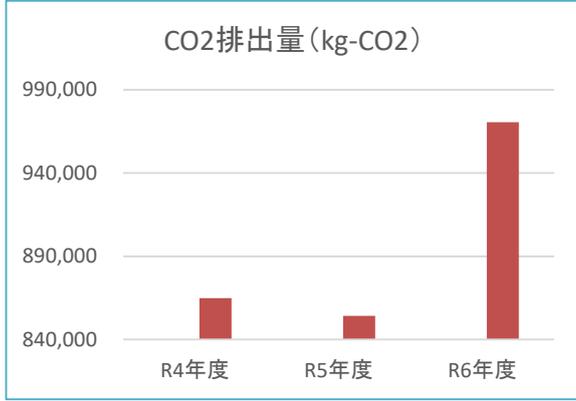
制 定 平成27年 8月 3日  
一部改訂 令和 2年 5月18日  
株式会社フジタ 代表取締役 金坂博文

# 環境負荷実績3期比較（本社・工場）

二酸化炭素排出量の削減を目標として、排出量要因である項目に関して当該年度から遡り、3年間の比較を行うこととする。

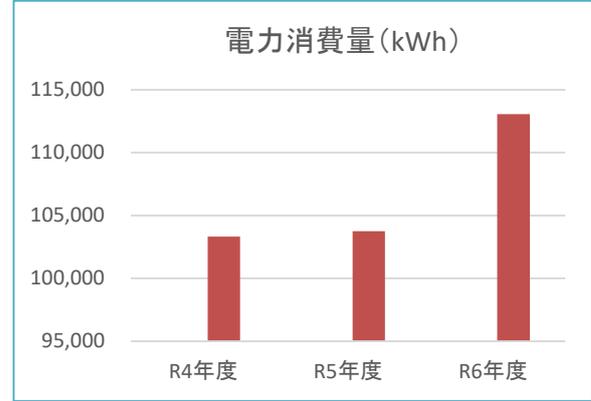
## ①CO2排出量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
kg-CO <sub>2</sub>	864,827	854,255	970,498



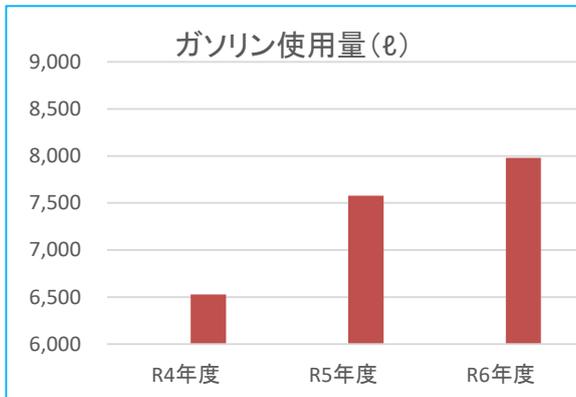
## ②電力消費量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
kWh	103,330	103,766	113,070



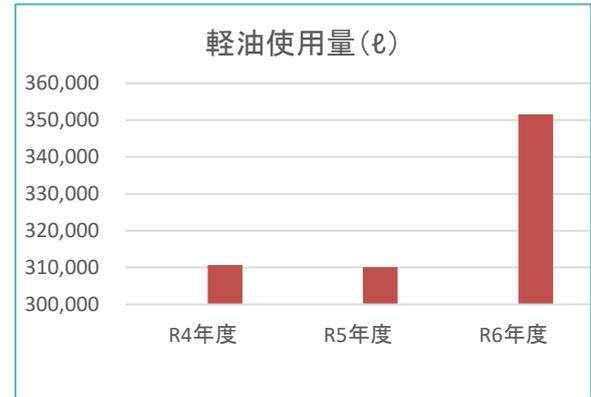
## ③ガソリン使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
ℓ	6,528	7,577	7,979



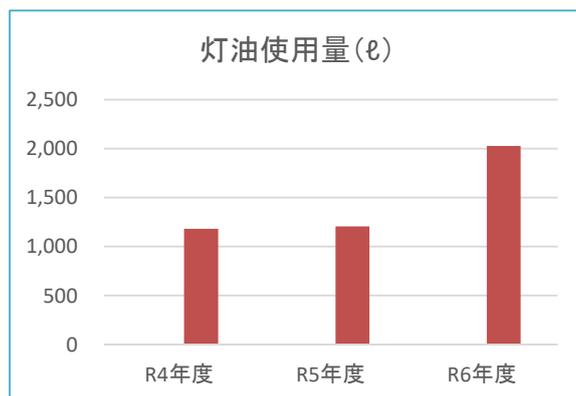
## ④軽油使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
ℓ	310,647	310,084	351,560



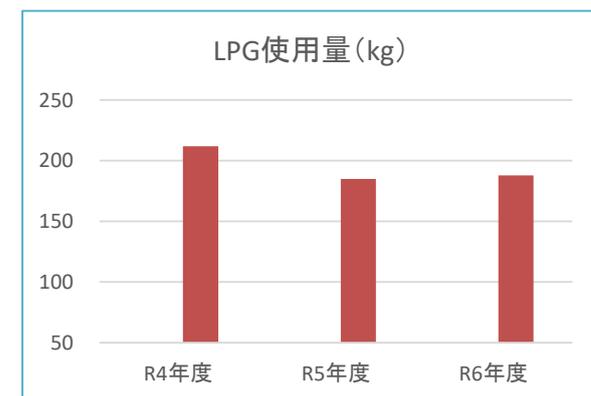
## ⑤灯油使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
ℓ	1,180	1,207	2,026



## ⑥LPG使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
kg	212	185	188

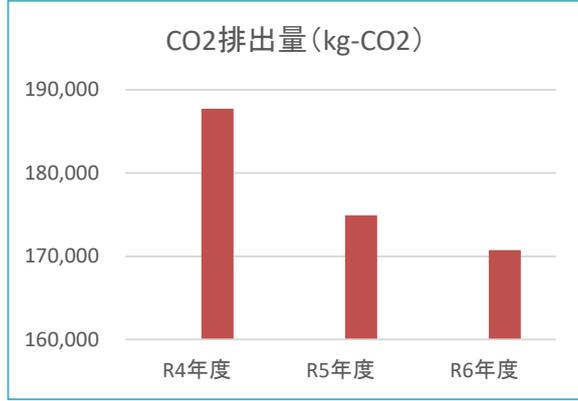


## 環境負荷実績3期比較（資源化事業部）

二酸化炭素排出量の削減を目標として、排出量要因である項目に関して当該年度から遡り、3年間の比較を行うこととする。

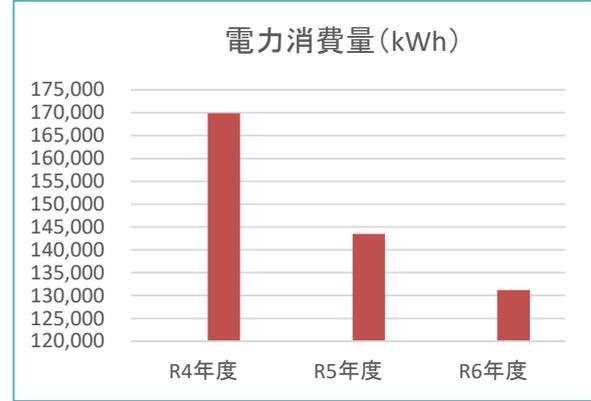
### ①CO2排出量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
kg-CO <sub>2</sub>	187,718	174,927	170,730



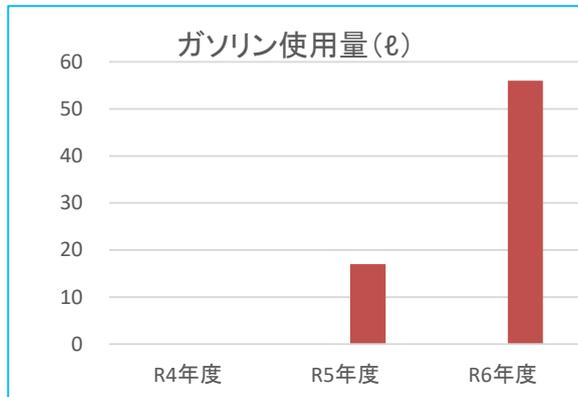
### ②電力消費量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
kWh	169,855	143,466	131,236



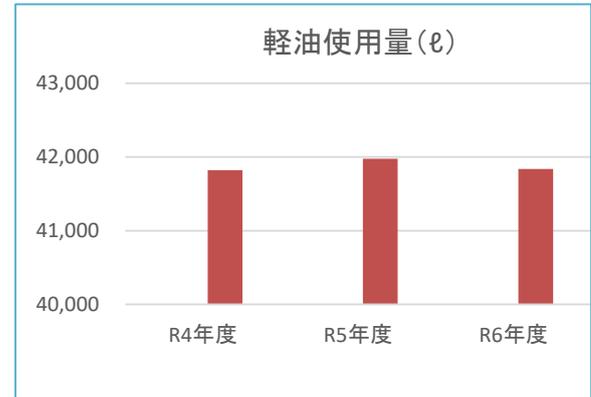
### ③ガソリン使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
ℓ	0	17	56



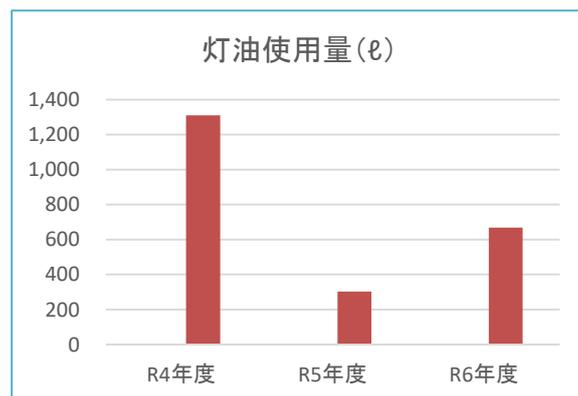
### ④軽油使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
ℓ	41,820	41,977	41,837



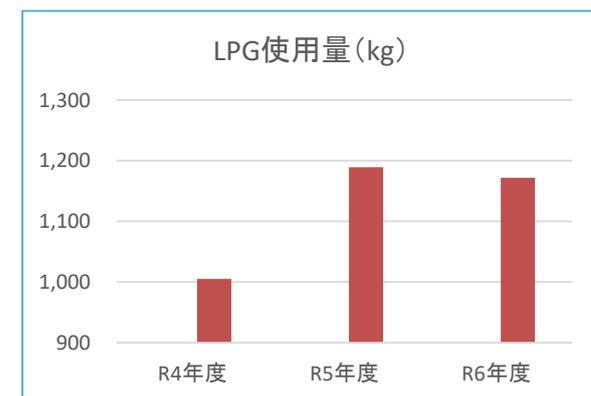
### ⑤灯油使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
ℓ	1,310	303	669



### ⑥LPG使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
kg	1,005	1,189	1,172

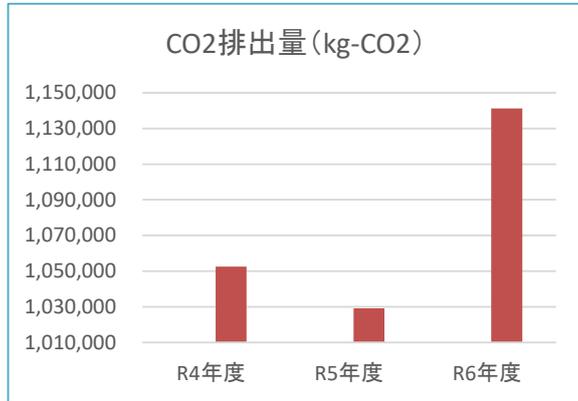


## 環境負荷実績3期比較（全組織）

二酸化炭素排出量の削減を目標として、排出量要因である項目に関して当該年度から遡り、3年間の比較を行うこととする。

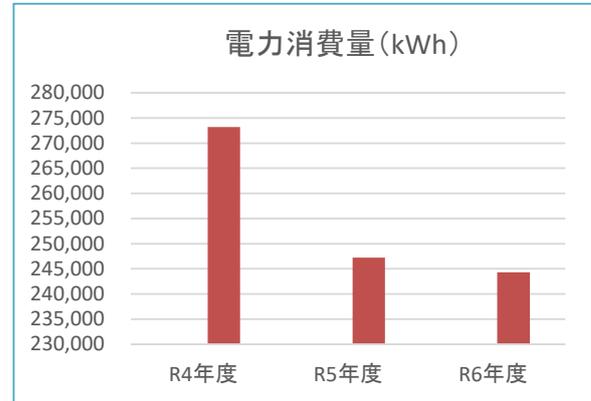
### ①CO2排出量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
kg-CO <sub>2</sub>	1,052,545	1,029,182	1,141,228



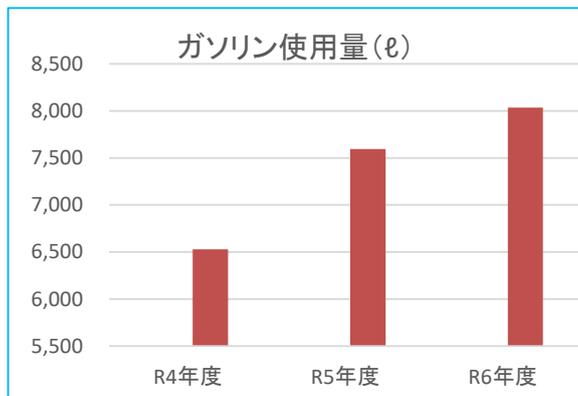
### ②電力消費量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
kWh	273,185	247,232	244,306



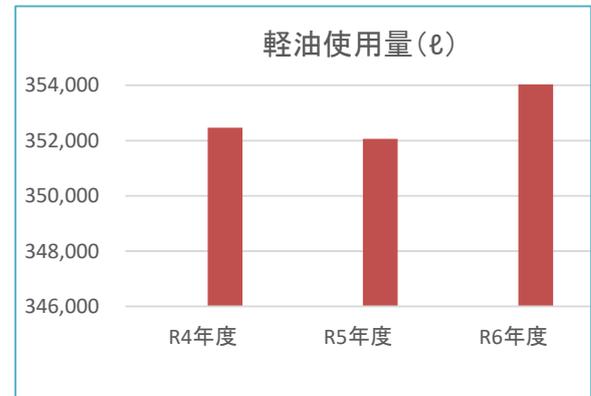
### ③ガソリン使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
ℓ	6,528	7,594	8,035



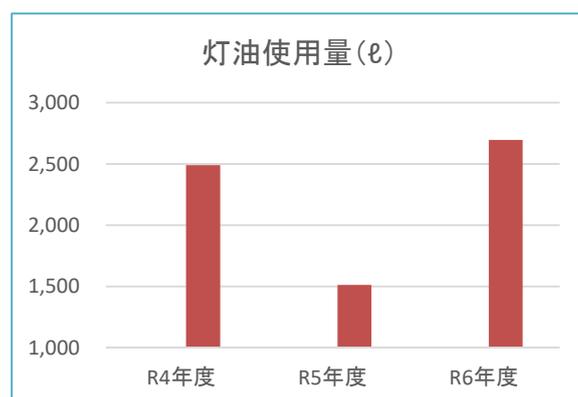
### ④軽油使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
ℓ	352,467	352,061	393,397



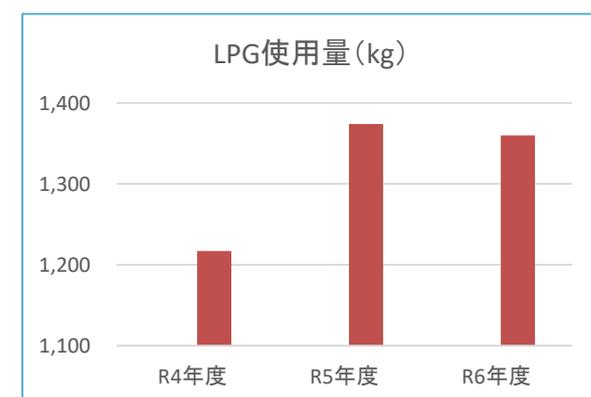
### ⑤灯油使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
ℓ	2,490	1,510	2,695



### ⑥LPG使用量

単位	R4年度	R5年度	R6年度
kg	1,217	1,374	1,360



## 環境目標と環境負荷実績、評価（本社・工場、資源化事業部）

\* R7年度以降はR3からR5年度実績平均値に基づき目標を掲げ環境活動に取り組む。

（R6年度は前回掲げた目標値）

\* 二酸化炭素排出要因に関する項目と水使用量のみの比較とする。

### 中期環境目標（本社・工場）

項目	単位	基準 (R3～R5年度平均)	R6年度	R7年度 (-0.5%)	R8年度(-1.0%)	
二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	863,058	835,289	858,743	854,427	
内 訳	購入電力	kWh	101,962	94,838	101,452	100,942
	ガソリン	ℓ	7,134	7,004	7,098	7,063
	軽油	ℓ	311,037	299,884	309,482	307,927
	灯油	ℓ	1,315	1,496	1,308	1,302
	LPG	kg	207	214	206	205
水使用量	m <sup>3</sup>	1,734	1,776	1,725	1,717	

### 環境負荷実績と評価（本社・工場）

項目	単位	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	目標に対する評価	
二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	854,255	835,289	970,498	未達 +135,209	
内 訳	購入電力	kWh	103,766	94,838	113,070	未達 +18,232
	ガソリン	ℓ	7,577	7,004	7,979	未達 +975
	軽油	ℓ	310,084	299,884	351,560	未達 +51,676
	灯油	ℓ	1,207	1,496	2,026	未達 +530
	L P G	kg	185	214	188	達成 -26
水使用量	m <sup>3</sup>	1,315	1,776	1,732	達成 -44	

### 中期環境目標（資源化事業部）

項目	単位	基準 (R3～R5年度平均)	R6年度	R7年度 (-0.5%)	R8年度(-1.0%)	
二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	178,167	164,982	177,276	176,385	
内 訳	購入電力	kWh	158,967	157,037	158,172	157,377
	ガソリン	ℓ	11	15	11	11
	軽油	ℓ	40,273	35,542	40,072	39,870
	灯油	ℓ	850	900	846	842
	LPG	kg	1,080	1,004	1,075	1,069
水使用量	m <sup>3</sup>	98	92	98	97	

### 環境負荷実績と評価（資源化事業部）

項目	単位	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	目標に対する評価	
二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	174,927	164,982	170,730	未達 +5,748	
内 訳	購入電力	kWh	143,466	157,037	131,236	達成 -25,801
	ガソリン	ℓ	17	14	56	未達 +42
	軽油	ℓ	41,977	35,542	41,837	未達 +6,295
	灯油	ℓ	303	900	669	達成 -231
	L P G	kg	1,189	1,004	1,172	未達 +168
水使用量	m <sup>3</sup>	106	92	100	未達 +8	

## 環境目標と環境負荷実績（安定型最終処分場）

\* 安定型最終処分場の適正な維持管理は目標設定をせず活動のみとする。

### 最終処分場維持管理記録状況

項目		単位・頻度	R4年度	R5年度	R6年度
展開検査実施回数（積荷検査）		回	2,511	2,639	2,619
浸透水の水質検査（BOD,COD）		月1回	毎月実施	毎月実施	毎月実施
水質検査24項目（地下水・各年1回）		年1回	R4.8.29実施 異常なし	R5.8.30実施 異常なし	R6.8.19実施 異常なし
水質検査24項目（浸透水・年1回）		年1回	R4.6.8実施 異常なし	R5.6.22実施 異常なし	R6.6.12実施 異常なし
周辺設備 維持管理	擁壁	月1回	異常なし	異常なし	異常なし
	えん堤	月1回	異常なし	異常なし	異常なし
	その他設備	月1回	異常なし	異常なし	異常なし
年間埋立量		t	15,056	17,680	15,900
残容量測定結果		m <sup>3</sup> (年1回)	191,189	182,598	173,280
残余年数		年	19	18	17

\*最終処分場の維持管理情報等は、産廃情報net（<https://www2.sanpainet.or.jp/>）、  
自社ホームページ(<https://eco-fujita.com>)にて公開しています。

### 安定型最終処分場状況写真



安定型処分場（全景）



処分場梅植栽状況

## 環境目標と環境負荷実績、評価（全組織）

\* R7年度以降はR3からR5年度実績平均値に基づき目標を掲げ環境活動に取り組む。

（R6年度は前回掲げた目標値）

\* 二酸化炭素排出要因に関する項目と水使用量のみの比較とする。

### 中期環境目標

項目	単位	基準 (R3~R5年度平均)	R6年度	R7年度 (-0.5%)	R8年度(-1.0%)	
二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	1,041,225	1,000,271	1,036,019	1,030,813	
内 訳	購入電力	kWh	260,929	251,875	259,624	258,320
	ガソリン	ℓ	7,144	7,019	7,108	7,073
	軽油	ℓ	351,310	335,426	349,554	347,797
	灯油	ℓ	2,165	2,396	2,154	2,143
	LPG	kg	1,287	1,218	1,281	1,274
産業廃棄物リサイクル率	%	69	70	71 (+2%)	72 (+3%)	
事業所排出廃棄物量	t	1.24	1.27	1.20	1.20	
水使用量	m <sup>3</sup>	1,832	1,868	1823	1814	
工コ友の会来場件数	件	32,651	34,927	33,304 (+2%)	33,631 (+3%)	

### 環境負荷実績

項目	単位	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	目標に対する評価	
二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	1,029,182	1,000,271	1,141,228	未達 +140,957	
内 訳	購入電力	kWh	247,232	251,875	244,306	達成 -7,569
	ガソリン	ℓ	7,594	7,019	8,035	未達 +1,016
	軽油	ℓ	352,061	335,426	393,397	未達 +57,971
	灯油	ℓ	1,510	2,396	2,695	未達 +299
	L P G	kg	1,374	1,218	1,360	未達 +142
受託した産業 廃棄物処理量	収集運搬量	t	3,050	-	3,152	-
	中間処理量	t	3,736	-	4,035	-
	最終処分量	t	17,680	-	15,900	-
	再資源化量	t	2,933	-	2,669	-
	再資源化率	%	78	70	77	達成 +7%
一般廃棄物	収集運搬量(委託)	t	7,657	-	7,029	-
	収集運搬量(受託)	t	8,581	-	8,287	-
	中間処分量	t	552	-	540	-
	再資源化量	t	173	-	161	-
製品出荷量 (t)	t	5,984	-	5,695	-	
環境指標① (一廃収集運搬)	ℓ / t	9.92	-	10.31	-	
環境指標② (産廃収集運搬)	ℓ / t	44.31	-	56.73	-	
事業所排出廃棄物量	t	1.13	1.27	1.18	達成 -0.09	
総排水量	m <sup>3</sup>	1,421	1,868	1,832	達成 -36	
工コ友の会来場件数	件	31,717	34,927	30,449	未達 -4,478	

■ 二酸化炭素係数 (R4年度) (株)C D Iがジャーナル 0.432使用 (本社・工場)

■ 二酸化炭素係数 (R4年度) 東京電力パワーグリッド(株) 0.433使用 (資源化事業部)

■ 環境指数①、②とは一廃・産廃収集運搬で使用した軽油量を収集運搬量で除した数値。

## 環境経営活動計画と取組結果の評価（前年対比）

	活動計画項目	施策	実績（結果）	評価
共通	●軽油使用量削減（随時）	・エコドライブの徹底 ・車両の安全点検 ・収集ルート効率化	・本社工場産廃部において前年を大幅に上回る結果となりました。 ・資源化事業部においては微減。	△
	●作業に関する節水（随時）	・洗車時等の節水 ・事務所、休憩室の節水	・本社工場においては9月から1月に前年を大幅に上回る結果となりました。 ・資源化事業部においては微減。	○
	●電気使用量の削減（随時）	・PC等不使用時、電源オフ ・工場内機械類の節電 ・空調機器の温度設定	・本社工場では産廃中間処分量の増加に比例し使用量が増加し、資源化では古紙等の取扱量の減少に比例し使用量も減少。	○
	●紙使用量の削減（随時）	・FAXのPDF化 ・裏紙使用	・FAXのPDF化、裏紙の使用は徹底されている。	○
	●収集・作業時の服装（随時）	・制服着用 ・定期的に支給する	・制服は必ず着用すること。 ・顧客先での挨拶等もしっかりと行うこと。	○
	●省エネ車の導入（車両入替時）	・収集車両 ・事務所車両	・令和6年度は新車で収集車両を4台導入。 ・車両の入替を計画的に行うことで、排ガスの排出量を抑制する。	○
	●高効率照明機器の導入（必要に応じて随時）	・事務所内等LED	・本社・工場は事務所、工場棟にLED照明等設置済。 ・資源化事業部に関しては検討中。	○
	●活動のマナー化防止（必要に応じて随時）	・各部署から意見を吸い上げる	・各部署毎に案を出してもらう。	○
	●『見える化』の推進（随時）	・事務所内掲示等	・月々の燃料等のデータ資料を作成し、各部署に配布。	○
●I友の会新規会員数、持込量の増化（随時）	・宣伝広告 ・粗大の受入のような新規計画を計る	・本社工場においては来場件数は増加したが持込量が減少、資源化事業部においてはどちらも減少という結果となりました。	○	
本社工場	●排出業者への分別指導（随時）	・収集時に呼びかける	・市指定ゴミ袋を使用していない者に対して指導を行っている。	○
	●顧客ゴミ保管庫の清掃（随時）	・計画を立て実行する ・汚れが酷い場合は即実行	・前年から継続して行うことが出来た。 ・同業他社との差別化が図れた。	○
	●廃棄物から資源の抽出（随時）	・仕分け時に古紙等のリサイクル可能な物を分別する	・再資源化率の目標数値には未到達だったが、金属、紙くずの抽出を行うことができた。	○
安定型最終処分場	●適正な処分（随時）	・許可品目以外の受入拒否	・搬入される荷の確認をし、適正な処分ができるよう努めた。	○
	●施設維持管理の徹底（随時）	・上流、下流、浸透水の水質検査	・適正な処理をし、水質に異常が出ないように努めた。BOD、COD、24項目のどの検査も異常はなかった。	○

○：遵守されている △：改善の余地あり ×：更なる努力が必要

# 令和6年度環境活動計画（次年度計画）

	活動計画項目	施策	R6年 度評価	令和7年度計画											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
共通	●軽油使用量削減（随時）	・エコドライブの徹底 ・車両の安全点検 ・収集ルート効率化	△	◎軽油使用量削減（継続実施） →											
	●作業に関する節水（随時）	・洗車時等の節水 ・事務所、休憩室の節水	○	◎作業に関する節水（継続実施） →											
	●電気使用量の削減（随時）	・P C等不使用時、電源オフ ・工場内機械類の節電 ・空調機器の温度設定	○	◎電気使用量の削減（継続実施） →											
	●紙使用量の削減（随時）	・F A XのP D F化 ・裏紙使用	○	◎紙使用量の削減（継続実施） →											
	●収集・作業時の服装（随時）	・制服着用 ・定期的に支給する	○	◎収集・作業時の服装（継続実施） →											
	●省エネ車の導入（車両入替時）	・収集車両 ・事務所車両	○	◎省エネ車の導入（継続実施） →											
	●高効率照明機器の導入 （必要に応じて随時）	・事務所内等L E D	○	◎高効率照明機器の導入（継続実施） →											
	●活動のマナー化防止 （必要に応じて随時）	・各部署から意見を吸い上 げる	○	◎活動のマナー化防止（継続実施） →											
	●『見える化』の推進（随時）	・事務所内掲示等	○	◎『見える化』の推進（継続実施） →											
	●I I友の会新規会員数、持込量の 増化（随時）	・宣伝広告 ・粗大の受入のような新規 計画を計る	○	◎I I友の会新規会員数、持込量の増加（継続実施） →											
本社 工場	●排出業者への分別指導（随時）	・収集時に呼びかける	○	◎排出事業者への分別指導（継続実施） →											
	●顧客ゴミ保管庫の清掃（随時）	・計画を立て実行する ・汚れが酷い場合は即実行	○	◎顧客ゴミ保管庫の清掃（継続実施） →											
	●廃棄物から資源の抽出（随時）	・仕分け時に古紙等のリサイ クル可能な物を分別する	○	◎廃棄物からの資源の抽出（継続実施） →											
安定型 最終 処分場	●適正な処分（随時）	・許可品目以外の受入拒否	○	◎適正な処分（継続実施） →											
	●施設維持管理の徹底（随時）	・上流、下流、浸透水の 水質検査	○	◎施設維持管理の徹底 →											

○：遵守されている △：改善の余地あり ×：更なる努力が必要

## 取組後の問題の是正及び予防処置

目標値未達成項目	原因	是正及び予防処置
<b>●二酸化炭素排出量</b> R6目標 1,000,271kg-co <sub>2</sub> R6実績 1,141,228kg-co <sub>2</sub> +140,957kg-co <sub>2</sub>	<b>【本社・工場】</b> ・主な原因は本社産廃部での軽油使用量が前年と比べ43,000ℓ増加したことである。	①軽油を始めとした化石燃料の使用量の削減。
<b>●ガソリン使用量</b> R6目標 7,019ℓ R6実績 8,035ℓ +1,016ℓ	<b>【本社・工場】</b> ・営業部門での使用量が増加した。  <b>【資源化事業部】</b> ・使用量自体少ないが、削減に努めること。	①営業活動においても、日程調整等を行い無駄の無いよう心掛ける。 ②エコドライブの徹底。
<b>●軽油使用量</b> R6目標 335,426ℓ R6実績 393,397ℓ +57,971ℓ	<b>【本社・工場】</b> ・本社産廃部での使用量が前年と比べ約43,000ℓ増加した。売上面から考察すると仕事量増加によるものと考えられる。 <b>【資源化事業部】</b> ・前年と同様程度で推移している。	①効率のよい収集ルートを作成。 ②エコドライブの徹底。
<b>●灯油使用量</b> R6目標 2,396ℓ R6実績 2,695ℓ +299ℓ	<b>【本社・工場/資源化事業部】</b> ・主な原因は冬場に使用したジェットヒーターだと考えられる。	①ジェットヒーターの使用方法の見直し。 ②レンタル時に低燃費の物を選定。
<b>●LPG使用量</b> R6目標 1,218kg R6実績 1,360kg +142kg	<b>【本社・工場】</b> ・前年数値と同程度で推移。  <b>【資源化事業部】</b> ・フォークリフトのエコドライブができていなかった。	①削減できる箇所の見直し。  ②フォークリフトの使用方法の見直し。
<b>●エコ友の会来場件数</b> R6目標 34,927件 R6実績 30,449件 -4,478件	<b>【本社・工場】</b> ・来場件数増、ただし取扱量は減少。  <b>【資源化事業部】</b> ・来場件数、取扱量ともに減少。	①次年度も引き続き広告宣伝等に力を入れ活動していく。 例) 市広報誌

### 安定型最終処分場

- ・今年度も適正な処理を心掛け、法律を重視し作業に従事してきました。次年度も引続き、適正な処分、施設の維持管理を目標とし活動していきます。

# 環境関連法規制の遵守状況

## 1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者：環境管理責任者 齋藤 正 遵守確認日：令和7年6月11日

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律  静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	廃棄物排出事業所との委託契約	契約（書）の締結	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
	マニフェストの保管	5年間	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
	保管場所の掲示	60cm×60cm 以上掲示	○
	マニフェストの年間集計と知事への報告	毎年6月30日までに提出	○
	許可と許可書の更新	5年間/7年間	○
	処理委託先の実地確認	毎年1回以上	○
	安定型最終処分場水質検査	BOD、COD検査 毎月1回	○
	安定型最終処分場水質検査	24項目検査 年1回	○
	最終処分場維持管理状況	毎月1回公表	○
伊東市・伊豆市・東伊豆町一般廃棄物処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物の収集運搬、処分	可燃ゴミ、不燃ゴミ、特定廃家電	○
	許可と許可書の更新	2年間	○
騒音規制法	規制値の遵守	破碎機、プレス機等の施設の届出	○
振動規制法	規制値の遵守	破碎機、プレス機等の施設の届出	○
悪臭防止法	規制値の遵守	対象外だが周辺住民に迷惑をかけない	—
道路交通法	交通法規の遵守		○
	点検の実施	消火器の点検	○
道路運送法	輸送の安全の遵守等		○
貨物自動車運送事業法	安全管理規定の遵守等		○
浄化槽法	保守点検と清掃の実施	保守点検年3回 清掃年1回 法定検査年1回	○
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	○
環境基本法	一般的な自主努力		○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	○
消防法	指定可燃物の届出 少量危険物の届出	軽油、紙屑、プラスチック類	○
フロン排出抑制法	第1種特定製品の定期点検	対象機器：エアコン11台 (本社10台 資源化1台)	○
		建設用機械：対象6台	○

## 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

近隣住民からの苦情も同様ありませんでした。

# 代表者による総合評価と見直し

代表者による 見直し	<b>【二酸化炭素排出量要因に係る項目（目標未達成）に関する評価】</b>	
	項 目	評価コメント
	二酸化炭素排出量	<p>【本社・工場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産廃部門における軽油使用量（収集の集約化）</li> <li>・ガソリン使用量（営業活動等における・効率・集約化）</li> <li>・電気使用量（産廃処理施設における使用方法の見直し）</li> </ul>
	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;">                 購入電力 ガソリン・軽油 灯油 L P G             </div>	<p>【資源化事業部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度よりは削減されていたが、収集ルートの見直しは継続して行うこと。</li> <li>・フォークリフトのエコ運転を実践し、L P G使用量の削減に努めること。</li> </ul>
	<b>【その他項目（目標未達成）に関する評価】</b>	
エコ友の会来場件数	<p>【本社・工場/資源化事業部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地元新聞だけでなく市の広報誌やスーパー等での掲示を検討していく。</li> </ul>	
<b>【環境経営システムに関して】</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎各担当者や社員一人一人が当活動の意義を理解し実践してくれています。</li> <li>◎担当者に次世代の環境活動を担える人材育成を指示しました。</li> </ul>		
代表者による 評価	<b>【環境方針、環境経営システムの変更の必要性の有無】</b>	
	◎環境方針、環境経営システムの変更は行わない。	
<b>【総 括】</b>		
<p>今年度も目標値には届かなかった項目が多く結果を残せない1年となりました。せっかく環境活動をしている中で、目に見えて成果を実感できないかと検討したところ、中長期の目標値が古い実績値を使用していたため、直近3年の平均値をベースとし、また削減パーセンテージも現実的な数値を用いた見直しを行いました。</p> <p>活動を継続していくにあたり、社員のモチベーションの低下は避けたいところでしたので、このタイミングで達成しうる数値に修正できたのはよかったのではないかと考えております。</p>		

令和7年 6月 11日  
株式会社 フジタ  
代表取締役 金坂 博文

## 地域との融合活動・その他活動

### 資源化事業部工場見学

今年度は工場見学の依頼はありませんでした。近年SDGS活動が着目されているなかで、弊社資源化工場は環境活動を勉強するのによい教育現場にもなるのではと思っております。次年度は見学にお越し頂けるようPRし、また来場件数の増加にも繋げていきたいと思っております。



### エコ友の会利用状況（本社・工場+資源化事業部）

(単位：件)

	R4	R5	R6
エコ友の会来場件数	32,971	31,717	30,449
内訳（資源化）	25,986	24,760	23,466
内訳（本社）	6,985	6,957	6,983

(単位：t)

	R4	R5	R6
エコ友の会持込数量	1,347	1,272	1,175
内訳（資源化）	1,076	1,010	925
内訳（本社）	271	262	250

エコ友の会とは、弊社が独自に行っている一般の方から企業の方まで御利用できるリサイクルシステム（資源ゴミ買取システム）です。